

鈴鹿医療科学大学 秋 同窓会会報 2008

2008年9月20日発行

発行：鈴鹿医療科学大学同窓会 事務局
 〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
 鈴鹿医療科学大学内
 FAX: 059-383-9666
 E-mail: mail@sums-aa.com
 ホームページアドレス: http://www.sums-aa.com



受付スタッフの学生です

2008年度 11/1(土)～11/2(日)

鈴鹿医療科学大学碧鈴祭 同窓会コーナーのお知らせ



同窓会コーナースタッフです

2008年11月1日(土)、2日(日)に第18回鈴鹿医療科学大学『碧鈴祭』が開催されます。今年度の同窓会コーナーのコンセプトは“憩いの場”です。同級生との再会の場を提供し、思い出の1ページを刻んでいただきたく、今年度も同窓会コーナーを設置します。飲み物もご用意しておりますので、同級生との歓談の場所としてぜひご利用下さい。卒業以来の友人や教職員の方々にはばったり出えるかもしれません！ 皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日時 2007年11月1日(土)、2日(日) 両日ともに午前11時～午後4時
場所 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス 実習棟2階4206教室(放射線技術科学科実習室)



1 大抽選会!

特賞 wii

1等 DVD プレーヤー

2等 カタログギフト

3等 くすぐりエルモ

4等「シュレッターばさみ」

※参加者全員にもれなく回コ入り **【USB携帯充電器】**

※粗品については数に限りがありますのでお早めにお越しください。

2 教職員の方々との久々の再会を!

今年度は、教職員の皆様を同窓会コーナーにお招きします。先生との久しぶりの再会もあるかもしれません。

3 交流掲示板を設置!

当日、大学に来ているけれど連絡先がわからず会えない友達への連絡掲示板としてもお使い下さい。

4 お楽しみくじやお菓子をご用意!

お子様連れの方も大歓迎です。お子様には、くじやお菓子をご用意しています。

※同窓会コーナーは、大学施設内のため、室内にある備品には手を触れないようお願いいたします。
 ※お越しの際には、受付にて学科、入学期をお教え下さい。

ホームカミングパーティーのお知らせ

大学祭同窓会コーナーにて14期生(2008年3月卒)を対象にホームカミングパーティーを開催します。軽食を囲んで、同級生と楽しい時間を過ごしてみませんか? 14期生の皆さん、お誘い合わせの上ぜひご参加ください!!

日時:2008年11月1日(土)
 午後3時～午後5時

場所:鈴鹿医療科学大学 同窓会コーナー
 (実習棟2階 放射線技術科学科実習室)

幹事:山口長四郎

(大和高田市立病院:放射線技術科学科14期生)



■学科ブース紹介 ～医療栄養学科～

現在の日本では、食糧の多くを外国からの輸入に頼っており、そのことが問題となっています。そこで、今年度の医療栄養学科ブースは、日本の食材に目を向け「米粉を使ったパン」をテーマにしました。テーマについての展示をはじめ、今年も試食コーナーも設置します。

また、昨年に引き続き血圧と血管年齢の測定も予定しています。簡単に測定できるので自分の健康状態をチェックできるいい機会だと思います(すべて無料)。小さなお子さんから、お年寄りの方まで楽しんでいただける内容ですので、ぜひ医療栄養学科ブースへ来てください!!お待ちしております!



■部活・サークルブース紹介 ～写真部～

写真部は現在、放射、鍼灸、栄養のメンバー20人程で活動しています。学科、学年を問わず、仲が良く誰かが一声かければ撮影旅行なんかも行ったりします。意外とフットワークが軽くて、ここ3年では岐阜(飛騨高山)、長野(諏訪)、県内では伊勢や鳥羽に行きました。

大学祭では綺麗、カッコイイ、癒される、など個性あふれる写真を取り揃え展示する予定です。ぜひ、写真部の展示を見に来て下さいm(,)m





ボランティアセンターは、鈴鹿医療科学大学の学生・教職員のボランティア活動を支援するために平成17年4月1日に誕生しました。これは、福祉・医療・保健を学ぶ学生が自主的・主体的にボランティア活動に関わることで地域社会の生きた実践学習の場に繋げることが何よりも大切との思いから設立したものです。センターでは、近郊の福祉施設や病院、社会福祉協議会などから依頼のあったボランティア情報を学生に紹介したり、ボランティアの研究や他団体との交流などを行っています。そうした中で特に、地域の人たちとの親睦交流を図る「スプリングフェスタ」や「ふれあいキャンプ」は、教員と一緒にボランティアで福祉を実践していく中で、学生たちの人間形成に大きな心の成長の糧になっています。

また、「災害復旧支援」、「鈴鹿シティマラソン」や福祉の祭典「ふれあい広場鈴鹿」(今年で第22回目)への運営企画や各種学術大会・学会への支援など多種多様な取り組みを行っています。創造的でフットワークの効いたボランティア活動を通じ、たくさんの人たちと「共に生き、共に育つ」といった福祉の心を紡ぎ、一生懸命に生きる命の大切さを学んでいます。

ボランティアセンター活動の紹介 『スプリングフェスタ 2008』

5月18日、鈴鹿医療科学大学にてスプリングフェスタ08～みんなで遊ぼう子ども祭り～が行われました。スプリングフェスタ08では、子どもとご家族の方(約700名)や、施設関係者の方々に参加頂きました。パンケーキ・アイスクリーム・わたがしなどの模擬店が出店し、吹奏楽の演奏や宝探し・玉入れ・大玉ころがしなどのイベントが行われました。その他にも、プラ板や着ぐるみもあり、子供たちも楽しそうでした。また、おもちゃ図書館やおもちゃ病院、奇術愛好会、竹とんぼ協会、ダブルシュークリーム(自助具)白子高校の生徒さん(バルーン)や四日市農芸高校のボランティアの方にご協力いただきました。このスプリングフェスタでは、中国・四川の大地震やミャンマーのサイクロン災害の募金活動も行われ、大きな混乱やケガもなく進み成功できたと思います。



恩師からのメッセージ

卒業生の皆様へ

放射線技術科学科
学科長 幾瀬 純一先生



今夏はとりわけ全国的な猛暑、東海地方も多治見市が(40℃超えて)熊谷市よりも地域気温日本一の暑さで有名になり、名古屋・多治見地方が酷暑地域の代表となりました。

開学時から7期生?頃までの方々には在学当時、千代崎キャンパスの夏は空調設備が不十分で、初夏から前期定期試験までは蒸し風呂的暑さの中で勉学に励まれた思い出がありましょ。現在の在学学生諸君はこの記録的猛暑続きの夏でも大学内では快適に過ごしています。特に食堂&1階ロビーも学内禁煙キャベンの徹底で空気清浄で涼しくなり、午

後～深夜までロビー族(避暑&試験勉強組)が頑張っています。夜間暴走族、ラップダンス族は今や昔話となり出没せず、近所住民からの苦情はめっきり少なくなりました。土曜の図書館利用も夏場は人気スポットと定着しました。

今年度、薬学部が国道23号沿いの鈴鹿警察署の対面(旧NTT敷地)に白子キャンパスとし開設(100名定員)されまして、全学で4学部/8学科(放射、栄養、福祉、理学、臨工、医情、鍼灸、薬学)と学生数二千名級の医療科学系大学・規模となり、時代の要請に適用”チーム医療に貢献できる人材”を目指すとの共通目標を掲げ、大学挙げて特色あるスクール・カラーを涵養しようと意気込んでいます。

放射線技術科学科を取り巻く環境についてレビューしてみますと、全国教育施設は40校、(大学は25校)、毎年全国で約1800名ほどの診療放射線技師が生まれていますが、4年制大学で現在、毎年80名～100名ほどの技師が巣立つ教育施設は本学と栃木県の国際医療福

祉大学であり、70名級以上の施設を加えても+1～2校程度ですから、平成3年4月開設の本学歴史から得られた実績とし、本年度末には第15期生が社会に出ますと、本学卒業の技師集団は累計1,500名を超える大きな存在、いわば“業界のMajor勢力”となります。

これから毎年巣立つ新卒業生諸君にとって大変心強い同窓の先輩の全国ネットワークが形成されていることになり、多くの御支援を期待できます。また実験・実習機器もここ2年間で更新が進み、16列MDCTや、FPDデジタルX線映像システムに触れて、学生諸君は眼を輝かせて実習に取り組んでいます。大学ホーム・ページも更新されていますので、近づく碧鈴祭の情報等、母校の動静に随時接してみてください。諸行事の推進役はやはり中西先生で“忙しいなんてカンケイナイ”と新ネタを仕込みながら、就職・臨床実習先の選定等に頑張っています。

では、卒業生皆様の御健勝と、一層のお活躍を祈念しております。



放射線技術科学科8期生 三浦 文閣さん(29)

9月に開催される北京パラリンピックに出場する、車いすバスケットボール代表の三浦文閣(ふみはる)さん(29)=県職員=のご紹介します。三浦さんは、放射線技術科学科8期生で、今回パラリンピック初出場です。

三浦選手は6歳のときに交通事故で両足が不自由になり、大学1年生の時、紹介され車椅子バスケットボールを始めました。車椅子バスケットボールを始めたころは、思うように上達せず、挫折の連続だったといいます。しかし、周りからのアドバイスを受け、人の2倍以上練習したそうです。思い返すと、大学時代、体育館で一生涯懸命練習している姿がとても印象に残っています。

現在、三浦さんは県職員の仕事と両立しながら「三重チャリオッツ」(津市)の練習に週3回参加し、チームでは主将として活躍しています。車いすバスケットボールを通じ、目標を持つことの大切さ実行力の大切さを実感し、それは仕事の中でも生きていくと話します。

世界の大舞台でプレーしたいという思いを持っていた三浦さんにとって今回のパラリンピックの出場は大きな夢でもあり、それが実現したことは、今までの彼の前向きな姿勢と努力の結果だと思えます。ぜひ頑張ってください!

三浦選手からのメッセージ

みなさんこんにちは。車椅子バスケットを始め、もう10年目になります。勉強とバスケット、仕事とバスケットの両立が自分のテーマであり、家族や友人に自分の目標を知ってもらい、両立に協力してもらいました。自分ひとりでは両立できなかったと思います。北京では、協力してくれた人達のためにもベストを尽くしたいと思います。

家族や友人の支えを受け、みなさんも、自分の目標に向かってベストを尽くし、学生生活を満喫してください。

医療栄養学科14期生 橋本 綾美さん

大学を卒業し、早いもので5ヶ月が経っていました。管理栄養士の国家試験は卒業後で、合格発表が5月と試験が終わった安堵感と、結果待ちという落ち着いた中で勤め始めることになりました。

この5ヶ月を振り返ってみると、一日一日があっという間に過ぎていきました。仕事をすることの大変さが身にしみましたが、充実感を持てる毎日でした。環境が変わったこともあり、最初の2ヶ月ほどは学生気分がなかなか抜けず、戸惑う毎日でした。しかし徐々に環境にも慣れ、仕事を覚えることで頭がいっぱいになってくるといつの間にか学生気分も抜けていき、今では周りを見て行動する余裕もできてきました。しかし、まだまだ覚えること、学ぶことがたくさんあり、気の抜けない毎日です。

当院の管理栄養士は病棟に顔を出したり、栄養指導をするだけでなく、献立作成や栄養剤の管理、常食・特別食の調理など、仕事は多岐にわたります。大学の授業や臨床実習での体験などで仕事の内容は理解している

つもりでしたが、やはり実際に仕事をして初めて初めて分かることも多くありました。栄養室では、私達にとっては多くの中の一食であったとしても患者様にとってはその一食がすべてだという考えを大切にしています。この考え方を常に意識し、一つ一つの仕事を丁寧にそして迅速にしていきたいと思っています。

今はまだ大学で学んだことを活かせる機会が少ないですが、これから学んだ多くのことをもっと活かしていきたいとも思います。また、学ぶ姿勢を崩さずに、現場で働いているからこそ身につけられる知識などを得ていきたいと思っています。

友人と楽しく過ごしていた大学生活を思い出すと、先生方や友人たちに会いたくなることもあります。しかし同時に、先生方の教えや友人たちからの激励を思い出し、大学で学んだことの大きさにも気付きました。そういった大学生活を含め、いろいろな場面で学んだことを活かしながら、これからもお互いに頑張っていきたいと思います!

卒業生レポート

3

嗚呼、我らパイオニア

放射線技術科学科3期生(東芝メディカルシステムズ株式会社 中四国エリア営業推進 MRI担当) 竹本 周平さん



97年に、鈴鹿医療科学技術大学を卒業し、早くも11年が経過しました。現在医療機器メーカーに勤務しており、中四国エリアでMRI装置の販売促進をしてい

ます。メーカーに勤務すると1年のリズムが非常に短く感じられるほど多忙の毎日であり、入社当時は、仕事の効率の悪さのせいか、徹夜し朝日にあくびすることもありました。

これまでの仕事を振り返ると、自分は日々移り変わるMRI動向の中で、最先端の仕事をしてきていたことを実感します。

先生方との共同研究、学会での研究発表、MRIに関する書籍への執筆、国際学会の参加、海外出張、新規開発のプロジェクト参加、多くの経験は私を人間として大きくしてくれました。これらはすべて自分の力だけではなく、先生方や会社の大勢のスタッフの多大な協力の賜物です。

何事も社会人になると責任がついてきます。個人の目標を達成するという俗に言う「ノルマ」という責任はも

ちるんですが、会社の同僚や先生方は私という個人に対して信頼してくれています。ただ、信頼関係が一旦損なわれてしまうとそれを回復するには相当の努力をしなければなりません。先生方と話をすることが仕事柄多く、日々お客様とのコミュニケーションは私にとって大切な時間です。一つ一つの会話を大切に「一期一会」でがんばっております。決して良いことばかりでもなく、時に心が折れそうなこともあります。多くの場合相手の気持ちを考えることで、相手の立場で考えると本質的な問題点が見えてくることがあります。自分の感情で行動せず、周囲とのバランスを考えることも大切です。

私たちは、鈴鹿で密度の濃い4年間を過ごし、大学で勉強した事を社会で大きく役立てることができている環境にいました。日々毎日いろんなことが起きていたのが「鈴鹿医療科学大学」。いかなるときでも鈴鹿医療科学大学の代表者として胸を張って挨拶できるように好奇心・向上心をもって日々アクティブに行動したいと思っています。皆様、スタミナをつけて夏を乗り切り、そして冬の「鈴鹿おろし」にまけぬよう、体を気遣い日々お過ごしください！

卒業生レポート

4

医用電子工学科3期生(鈴鹿医療科学大学医用工学部医用情報工学科) 山下 幸司さん



鈴鹿医療科学大学の卒業生の皆様には、日々活躍のことと存じます。私は、現在、本学の大学院に進学した関係もあり、鈴鹿医療科学大学医用工学部の医用情報工学科の教員として勤務しております。

現在大学は、薬学部が設置され、白子キャンパスができました。そういった意味では、大学としても大きな一歩になったと思いますし、卒業生としては、大学が発展するという意味ではうれしい限りです。

医用情報工学科では、医用情報工学科の1期生の橋本さんなどとも共同研究をさせていただいています。就職では、医療の情報化やICT化の施策のこともあり、医療機関や医療情報産業からの求人としては急激に増えています。また、卒業生などから直接求人なども来ているそうです。

さて卒業してから、早10年が経過しました。いま思えば、入学の志望動機は、医療を工学の面からサポートしたいという意味で本大学を志望しましたが、現在は医用情報工学科の教員をしているわけで、情報という技術を利用して医学・医療を支援するという意味ではすこしは実現できているかと思っております。

鈴鹿に住んでいるということもあり、買い物などで同窓生に会うこともあり、「お久しぶり」「〇〇期の卒業生なんですよ」「お元気ですか」とお話しできたりします。そういった意味で同窓生のつながりの大切さを感じ取っているところです。

大学の近くに来ることがありましたら、同窓生の皆さん、医用電子工学科の3期生の方、医用情報工学科の卒業生の方、一度よっていただけたらと思いますし、ぜひお会いできればうれしいかと思えます。

会報ネーミング募集!

同窓会会報の表紙を飾るネーミングを募集します！
鈴鹿医療科学大学同窓会のイメージにピッタリなネーミングを待っています！
ネーミングのアイディアはmail@sums-aa.comまでお寄せください。お待ちしております！



卒業生だより

「日本放射線技師教育学会」について

日本放射線技師教育学会会長

武藤 裕衣 (放射線技術科学科1期生)

昭和から平成に変わり間もない平成3年に、本学は医療従事者(コメディカル)養成を目的とする日本初の四年制医療系大学として開設しました。その後、全国で数多くの医療系大学が設立され、現在では、国内の診療放射線技師養成施設の約60%が四年制大学という時代になりました。

現在、医療を取り巻く状況はますます厳しくなってきました。その一方で、医療従事者に対する国民の注目度が高くなり、結果、安全で良質な医療を提供するためには、医療従事者の体系的な教育による資質の向上が望まれています。

今年2月、診療放射線技師教育に関する調査研究の充



実発展ならびにその成果の普及を目的に、診療放射線技師の養成教育および継続教育について、教員や技師が交流し、より良い教育を目指すための取り組

みについての意見交換や研究発表の場として、日本放射線技師教育学会を設立しました。

設立1年目の今年は、学術講演会のほか、「医療統計入門」等のセミナーを行っています。

今後も各種セミナー・学術大会・学術論文誌発行などの活動を通して、診療放射線技師の皆様に有益な教育情報の発信・交流を目指して活動を進めてまいります。なお、本学会の事務局は、鈴鹿医療科学大学内に設置されています。

診療放射線技師養成・継続教育に関心のある皆様、ぜひご参加ください。

年会費は2000円です。

入会は日本放射線技師教育学会ホームページ(<http://www.jart.jp/section/jsert/index.shtml>)から入会申込書をダウンロードして行っていただけます。



■ 「技師の働く風景」写真の募集

日本放射線技師教育学会では、参加型イベントとして「技師の働く風景」をテーマにした写真コンテストを実施しています。募集要項は以下の通りです。どなたでも応募いただけます。たくさんの応募お待ちしております。

1. テーマ : 診療放射線技師の働く風景
2. 参加資格 : 特に問いません
3. サイズ : 2L(LL)、パノラマサイズ
(デジタルカメラによる撮影・モノトーン仕上げは可、画像の加工・合成は不可)
4. 締め切り : 平成20年10月31日(金)
5. 送付先 : 日本放射線技師教育学会事務局
〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
6. 審査 : 審査会において厳選いたします
7. 賞 : 日本放射線技師教育学会会長賞、優秀賞、他
8. その他 :

※写真は未発表のものに限ります。

※提出する際は応募用紙

(<http://www.jart.jp/section/jsert/index.shtml>にあります)に必要事項を明記の上、写真と一緒に送付してください。

※投稿されたすべての写真の著作権は日本放射線技師教育学会に帰属します。

※入選作品等は展示、ホームページ等にて公表します。

※他の作品についても発行物等に掲載する場合があります。

■ 第3回教育学会セミナーのご案内

以下の通り、教育学会セミナーが開催されます。興味のある方はぜひご参加ください。(診療放射線技師以外の方でも、興味のある方はどなたでも参加可能です。)

1. セミナー名: “説得できる” 企画書作成・プレゼンテーション入門
2. 日時: 日時: 平成20年10月26日(日) 10:00~15:00(予定)
3. 場所: 鈴鹿医療科学大学 B講義棟3523教室
(〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1)
4. 講師: 高崎健康福祉大学 児玉直樹、
鈴鹿医療科学大学 武藤裕衣
5. 受講料: 教育学会会員(正会員・準会員) 2,000円
(年会費1000円にて準会員登録可能)、非会員4,000円
6. 申込方法: 郵便局備え付けの「払込取扱票(青色)」を用い、
受講料を振込後、セミナー申込書に必要事項を記載し、日本放射線技師教育学会事務局宛にFAXまたは郵送してください。申込書は
<http://www.jart.jp/section/jsert/index.shtml>
にあります。
7. 受講料振込先: ゆうちょ銀行
口座番号: 00180-4-502781、口座名: 日本放射線技師教育学会
通信欄に「申込セミナー名・教育学会会員の方は会員番号」
を記載
8. 申請書送付先: 日本放射線技師教育学会事務局
〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
FAX 059-383-9666
9. 申込締め切り: 平成20年10月23日(木)